

不退転

市制施行80周年にあたる まちづくりへの決意



高山市長 くにしま 國島 みちひろ 芳明

明けましておめでとうございます。年頭にあたり市民の皆様にごあいさつを申し上げます。

昨年は市町村合併から10年の節目の年であり、向こう10年のまちづくりの指針「第八次総合計画」と「地方創生」をスタートさせた年でもありました。まさに、一つになって10年、そして次の10年に踏み出した年でした。

国際的には伊勢志摩サミットの開催決定やTPP協定の大筋合意のほか、訪日外国人旅行者は過去最高を記録し、国が掲げる2千万人到達が現実味を帯びてきました。市内を訪れる外国人旅行者（延べ宿泊者数）も過去最高となる見込みです。

地元経済のけん引役であり波及効果の高い観光産業の勢いを加速させていくためにも、引き続き飛騨高山ブランドの魅力を高めて地場産品の販路拡大と、誘客宣伝に力を入れてまいります。そして、他市県より一步も二歩も抜き出る創意に富んだシテイセールスを展開していく所存です。

さて、本年は市制施行80周年を迎えます。

先ずもつて、それぞれの地域で汗を流し涙をこらえて今日の高山市を築かれた先人の皆様のご尽力に深甚なる敬意を表する次第です。後から続く一人として、歴史創新の言葉通り、長きにわたる発展の歩みを確実に継承し、優しさと活力があふれ、輝きを放ち続ける新しい時代に適った高山市の未来を切り開いてまいります。

80周年記念事業は、連綿と守り受け継がれてき

た自然や歴史、文化、伝統への誇りと愛着の心を次世代に『つたえる』、地域間・都市間・世代間で連携して交流の輪を『ひろげる』、高山の良さを再発見し創造して新たな魅力を『つくりだす』の3つのキーワードを柱として取り組みます。実施事業を通じて、心豊かに暮らせる高山市の新たなステージを創っていきけるものと期待をいたしております。

さて、私は「市政の主人公は市民の皆様一人ひとり」の新しい高山市を創るため、対話・市民参画・情報公開を信条に、自立したまちを築く努力を重ねてまいりました。

特に昨年「協働のまちづくり」が市内全域で始動しましたことは、住民自治の新たな出発点であり、代え難い貴重な歴史と財産を生み出しました。これからも皆様からお寄せいただくご意見ご提案に真摯に耳を傾けながら、「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と心の底から笑顔で語り合える高山市をもとに築いてまいります。

――高山市のまちづくりに向けた不退転の決意です――

市民の皆様におかれましても、今まで同様、お互いに手と手を取り合い、励まし合いながら、子どもたちが夢と希望を抱ける高山市を心ひとつに築いていきましよう。

私も今まで以上に強い信念を持ってまちづくりに臨んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。年頭にあたってのごあいさつとさせていただきます。